

山 想

令和元(2019)年度

冬山合宿特別号(1月17日
発行)

川崎橘山想会

=事務所=

〒213-
川崎市高津区

はじめに

新年おめでとうございます。今年の冬山合宿は全て年末で終了しました。正月はのんびり過ごせましたか。最も2日から「山行」と言う会員もいますから、推して知るべしですが。今年も事故の無い安全山行を楽しみましょう。

また今年も合宿特集号を用意してみました。

冬山合宿山行報告 1

©2019 年度冬山合宿：高齢者九州地方山行

期日：2019年12月25日～31日

メンバー：L、Y、O、F

12月25日(晴のち曇りのち雨)

横浜でみんな合流できると思ったが誰もいない。合流できたのは羽田空港内だった。搭乗手続きは非常に混雑していて時間がかかる。機内に入ってホッとす。Oは機内で年賀状の作成に没頭し、アツという間に大分に着く。

飛行場を出て、これからズーッと使う車(レタカ)の受取り場所へ移動。F曰く、予約していた車と車種が違うという。「一人減ったから良いようなもの、4人ではこの車では狭い」と能書きを言っていた。

まず、ガスボンベの購入が必要で40km先のスポーツ屋へ向かう。山溪というスポーツ屋で大4、

中2の6本を購入し、途中で食糧2日分を購入して宿泊場所の志高キャンプ場へ向かう。キャンプ場は全体に7～8cmの芝が生えた所、「これは気持ちが良い」と喜んでテントを張る。今夜は海鮮丼が主食となる。刺身が4種類だったのがチョッと惨めで、6点盛りか8点盛りの刺身を買えばよかったと反省。

それは別にして、夜から降り出した雨は下が芝のためテント内に浸み込み、朝はシュラフがびしょびしょだった。



最初は快適だったテン場も雨には最低の場所だった。

12月26日(雨のち曇りのち再び雨)

起きても雨、天気予報を聞くと午後から上がるという。Y君が「無料休憩所はストーブが燃えていて誰もいない」という。シュラフを持って無料休憩所へ行き半日かけてシュラフを乾かす。

予報通り、午後からは雨が上がる。ただしテント場からは13時を過ぎないと車を出すことができず、しばらく時間待ちをする。

計画では今日、鶴見岳と由布岳を登る予定だったが、半日行動となったため鶴見岳のみとなる。下山の後半から再び雨が降り出し、キャンプ場に戻り無料休憩所へ行くが閉店(17時)まで時間がなく、15分程温まるだけだった。

せっかくシュラフを乾かしたので、このまま雨のテントに入る気はせず、「トイレの横が良いか」、「自販機の前が良いか」、「水道の前が良いか」などと屋根のある所を探し、最終的に「炊事場の前」を利用することとして引越しをする。この夜から雨より風が強くなる。

鶴見岳 <コースタイム>

志高キャンプ場 12:45=登山口 13:15-頂上 14:15~15:05-登山口 16:00~16:15=志高キャンプ場 16:30

12月27日(晴、強風)

ようやく雨から逃れることができた。身につけているものは湿っぽい、シュラフが濡れたことはうれしい。ただし風が強くなり、テントの外では、空き缶や鍋類がカラカラと飛んで行ってしまふ。Fは、雨具のズボンが飛ばされてしまったと翌日言っていたが、確りザックの中に仕舞ってあった。

朝食を食べて、「今日は登れるかな」と言いながら、由布岳の登山口まで車で移動する。いろいろあったが何とか由布岳は半分登ることができた。降りてきて次の山、久住山に登るべく長者原に行くため、湯布院内で昼食を食べ、食料を購入して山なみハイウェイに入る。途中案内所に寄って情報を得て宿泊場所へ向かう。

ここも芝生の上でのテント泊となるが、天気は『晴れ』で安心して泊まる。飲み過ぎか寒さかトイレが近いが、天気が良いため満天の星の眺めが素晴らしい。九州に来て初めての星空だ。坊ガツルに行かれなかったのは残念だったが、やむを得まい。

由布岳 <コースタイム>

登山口 7:35—西峰(雪がついていて途中中止)—東峰 10:10~10:20—登山口 12:00

12月28日(晴)

牧の戸峠へ移動して、ここから久住山を往復した。ようやく天気の良い中を登り下ったが下りは霜柱が完全に溶けて、靴もストックも泥だらけとなる。



九州最高峰の中岳、山行中一番良い天気にも恵まれる。

これから祖母山へ向かう予定だが、天気は明日午後から悪くなるという。山は登れるかもしれないが、初日にシュラフまで濡らす天気に見舞われたため、雨に対する嫌な思いは大きい。

「当初の予定は阿蘇山で、噴火のため変更を余儀なくされたが雨の祖母山は好まない。阿蘇に行き、午前中で登れる山に入るのが良いのではないか」。こう結論付けて、阿蘇に向かう。

今日も宿泊する場所をあちこち探すが、阿蘇インフォメーションセンターで情報を得て、裏のキャンプ場に1泊する。

このキャンプ場、管理人は不在、宿泊客は1組、その客が管理人に連絡をしてくれるが不在で連絡がつかず、手続き無視で泊まることにした。「管理人が来たら払えばいいや」。

久住山 <コースタイム>

牧の戸口 7:30—久住山 9:25~10:00—中岳 10:40~10:55—天狗ヶ城 11:15—牧の戸口 12:55

12月29日(晴のち曇り)

帰り間に管理人は出てきた。費用は前日の宿泊を考えるとはるかに安かった。

撤収にあたり、車もテントも阿蘇の噴火で火山灰を被り埃だらけの状況だった。車は水をかければ良いが、テントは帰って掃除をしなければならず、Y君は大変だ。



阿蘇の中の烏帽子岳、何と1時間もかからず登頂。

キャンプ場から数十分で草千里浜に着く。車を置いて、目の前の烏帽子岳に登る。これで今回の山行は全て終了となる。

戻ってきて、昼食はネパール・インド料理の店に入り、ナンとカレーを頼む(ネパールでは飽きてしまった料理だったが美味かった)。

今夜は雨に降られても濡れないように、道の駅で屋根のある所を探し熊本に向かう。途中国道でも不通になっている所があり、地図を見ると熊本地震で崩壊した国道57号線の橋梁の所だ。迂回をして“道の駅大津”へ入る。しかし、夜間駐車禁止の札があり諦めて先に行き、“道

の駅旭志”に入る。肉屋、八百屋など日常必需品があり屋根もある、ここに決める。



噴煙を上げる阿蘇山、この噴煙がテント・車を汚す。
(烏帽子岳より)

烏帽子岳 <コースタイム>

草千里浜駐車場 9:15ー烏帽子岳 9:57~10:10ー草千里浜駐車場 10:50

12月30日(雨)~31日(晴、曇り)

結果ここで2泊して温泉に入ったり、熊本見物に行ったり楽しい(無駄な)時間を過ごす。1日目の温泉は菊池温泉の望月旅館、2日目に旭志温泉に行った時は濃霧にまかれ、視界がほとんど効かず方法の体で“道の駅旭志”に戻る。

ようやくここで馬刺しを食べる。なにしろ目の前の店で購入して、すぐスライスして食べるから特に美味しい。2日間も続けて食べた。好きなだけ食べたらKが底をついただろう。

熊本空港で最後の昼食を摂り、各自土産物を調達して帰途に就く。安い飛行機は40分遅れて出発をした。最も東京発が30分遅れたのが原因だったが。

冬山合宿山行報告2

2019 冬山合宿 槍ヶ岳・奥丸山

(報告者: U)

期日: 2019 (R1) 年 12月 28日~30日

メンバー: CL U、SL S、

S、I、I、K、H、K、N

12/27

一足先に川崎を出て、中央本線竜王駅にてS車に拾ってもらい20時前に出発。新穂高に0時に着いて6:30 駐車場でパッキング開始の旨連絡を入れる。

他メンバーは栃尾を左折したところの道の駅

で仮眠したとのこと。

12/28

新穂高登山指導センターから4ピッチ歩き、6時間後の13:30過ぎに槍平に到着。

中崎尾根には上がらず翌日早めのアタック狙いで槍平に幕営。

<コースタイム>

新穂高登山指導センター 7:20~穂高平小屋 9:03~白出沢 9:53~藤木レリーフ 12:03~槍平 13:38



12/29

明け方まえ、槍ヶ岳隊(L.S、S、I、I、K、H)は出発。

K、N、Uの隊は奥丸山へ。槍ヶ岳隊には申し訳ないがゆっくり寝させてもらい、7時過ぎ槍平発。

千丈乗越分岐で休憩して、うっすら残っている踏み跡を辿り奥丸山へツボ足で上がります。ズボズボ足が嵌まりながらも大健闘のNさんについていく。

平坦なところに出てワカンを装着し、浮力を感じながら歩きました。11時にピークに立って記念撮影。晴天の下、ふかふかの雪に各々トレースを付けて下山。

正午過ぎ、槍平に戻ってギア類を外して水作りでも始めようかと思っていたらSさん達が下りてきた。10:30頃登頂を果たして飛騨沢から一気に下りてきたとのこと。

<コースタイム>

① 槍ヶ岳隊 槍平 3:50~千丈乗越 7:54~槍平ピーク 10:35~飛騨沢千丈乗越分岐 11:54~槍平 13:31

- ② 奥丸山隊 槍平 7:16～中崎尾根千丈乗越分岐～奥丸山ピーク 11:54～千丈乗越分岐～槍平 13:09



岩ばかりでなく、雪もまた楽し。(奥丸山隊)



奥丸山隊のメンバー、頂上で元気いっぱい。

川崎橘山想会
川崎橘山想会

顔写真を隠しています。
それほどの「顔」でもありませんが、ご覧になりたい方は、
集会にでも顔を出していただければと思います。
いつでも歓迎です。気軽にどうぞ。

今夜のメニューは？、出来上がるのが待ち遠しい。

川崎橘山想会
川崎橘山想会

顔写真を隠しています。
それほどの「顔」でもありませんが、ご覧になりたい方は、
集会にでも顔を出していただければと思います。
いつでも歓迎です。気軽にどうぞ。

川崎橘山想会
川崎橘山想会

顔写真を隠しています。
それほどの「顔」でもありませんが、ご覧になりたい方は、
集会にでも顔を出していただければと思います。
いつでも歓迎です。気軽にどうぞ。

雪を溶かして飲んでるのかな？。





天気も最高、ピッチがあがる。(槍ヶ岳隊)



下りは慎重に。(槍ヶ岳隊)



槍ヶ岳隊、登頂おめでとう。笠ヶ岳(下)も微笑んで！



入山か?、下山か?、全員揃って はいポーズ。

12/30

天気は下り坂へ向かうため早々に下山開始。28日に登山指導センターで出会った東芝山岳会の3名と再会し挨拶して、駐車場へ急ぐ。

下界は雨だったためびしょ濡れになり近くの温泉(ひがくの湯)で暖まって帰りました。

〈コースタイム〉

槍平 6:15～滝谷避難小屋 7:07～白出沢 8:15～穂高平小屋 9:00～新穂高登山指導センター 9:51

■山行を終えて

3年ぶりに中崎尾根から槍ヶ岳/奥丸山への合宿を組み、各隊ひとり残らずピークを立つことができ充実の山行でした。年を新たにして次の目標に向けて頑張っていきたいと思います。

冬山合宿山行報告 3

西丹沢犬越路避難小屋鍋パーティー山行

期日：2019年12月28日～29日

メンバー：L、N、A、O、U

冬合宿に行かれない傷病者のために、西丹沢犬越路避難小屋で年忘れ鍋パーティー山行を、YさんとYさんの企画で始めた計画でしたが、傷病者に追い討ちをかけるように、Yさん捻挫、Yさん風邪で寝込むこととなり、参加は腰痛で悩むAさんとOさん、老体ムチ打って参加のN、紅一点で女子力高いビール党のUさんの4名となりました。しかし疫病神はこの後も付きまわっていました！。

28日の朝、なんと小田急線は人身事故で全線不通状態。Uさんは登戸駅で足止め、Aさんはなんとか柿生駅で待機、Oさん、Nは中央林間で右往左往する有り様。

しばらくすると小田原～新百合ヶ丘間の折り返し運転が開始。Oさん、Nは先に行って食材の買い出しを済ませて、UさんとAさんを待つ作戦で行動。

秦野駅で下車して買い出しを行いホームに戻ると、停車中の電車にAさんが乗っていてビックリ、もしやUさんも乗っているのではと探すも見つからず。トイレを済ませたOさんと合流して新松田駅に向かいながらUさんに新松田駅集合のメール連絡をする。

何とか新松田駅で全員集合して朝昼食を摂って予定時刻のバスに乗り、西丹沢ビジターセンターに向かう。西丹沢ビジターセンターに登山計画を出して通行止めの用木沢出合に向かう。

林道が崩落していると思っていたが出合の駐車場に渡る橋の付け根に、大きな穴が口を開けていただけ。幸い足場用の網で補強してあるので何とか渡る事が出来た。途中も荒れていたが、核心は小屋が見える手前のガレ場状態のツメで苦戦をする。

避難小屋は誰一人居なく貸別荘状態に、Uさん、Oさんもびっくり状態。早速荷物を広げて寝床を確保して、鍋料理作りを開始。

今回Nは、6人を想定して26cmのK鍋と鍋五徳を購入しての気合い参加で、Y料理長の代役を務める。しかしUさんもオールステンレス製の包丁・まな板・ふきん・鍋敷きなどを持参し、女子力の高さを垣間見せる。

まずはビールで乾杯してキムチ鍋を食べながら、Uさんの橘山想会见学の経緯や山歴の話を肴に酒を酌み交わす。「いろいろ話し、飲み食べ、楽しい一時を過ごす山行は、ストイックに山に向き合う人達には時代遅れかな」など愚痴

ると、Uさんが「山では酒飲むものですよ」と嬉しいご意見、「O隊勧誘したいですね。」

酔いに任せたのかUさんが「私、会に入ります」宣言。Aさんが一斉メールでUさんの入会連絡を流す。なんと素敵な新人さんでしようと思いつつ、Nは去年のYさん達との鍋山行の悪夢を思い出していました。

途中から1人増え、2人増えと避難小屋泊まりは合計6人、明日の4時起き早朝発に備えて酒盛りは21時頃には終わりにして就寝。

29日、4時頃起床してキムチ鍋の残りにうどんを入れて朝食を済ませ、6時頃登山を開始。小コゲ、大コゲと岩場などの変化があり、楽しみながら檜洞丸に登頂。

樹木の枝は氷でコーティングされ白銀に輝き、空はコバルトブルーに晴れ渡り、低山ではあるが素晴らしい雪山の山頂到着である。我々はこの一時をコーヒータムで過ごす事で心身のリフレッシュが出来ました。

髪のないNが、後ろ髪を引かれる思いで西丹沢ビジターセンターに下山すると、何と年末年始休暇の貼り紙が、シャッターが下ろされトイレも使えない状態！次のバスの時刻まで2時間程、「オーマイゴッド！」

岳人は冷静沈着に行動を起こす！確かキャンプ場の受付にはトイレや自販機があった？。リュックはビジターセンターのベンチに置いてキャンプ場へ、そこには熊か？いや後から下山したAさんがコーラを飲んでる姿！。

3人に下のビジターセンターは閉店状態で、トイレも使えないからキャンプ場の受付で時間潰しすることを提案。受付に入ると、なんと素敵！パンカフェ状態、そのうえビールやチューハイまである始末。ここでビール、チューハイ、ラーメン、蕎麦と各人まったり！。

昨日の朝、バスのチケット売り場で往復切符に日帰り温泉入浴券付きを買ったN、Uさん、Aさんは中川温泉郷で途中下車、家族(妻)想いのOさんは直行帰宅となる。

途中下車組は日帰り温泉を求めて迷走、やっと発見したが年末年始休暇の貼り紙が、「チケット売り場のババァ詐欺だ」

岳人は冷静沈着に行動を起こす！。追加料Kを払い別の日帰り温泉を探して入浴を楽しむ。しかし次のバスの時刻まで30～40分、入浴もそこそこにバス停までダッシュ、1～2分前に到着。しかし5分程するとカップルが県道を下りて来

る、話を聞くと我々と同じように日帰り温泉に入ろうと下車したが、休館で直ぐに引き返して来たらしい。

と言うことは「バスは通過してる」「オーマイゴッド！」これから一時間半近く待つ、湯冷めしてしまう。カップルは寒いから歩ける所まで行ってバスに乗るとの事。仕方なく我々も歩き出す。一つ目のバス停まで歩くと屋根で囲われた東屋風なのを理由にバスの時刻まで待つこととした。

日が暮れ辺りが真っ暗状態に成った頃、ようやくバスが来て乗車。1~2ツ先のバス停で先ほどのカップルが乗車して出発しようとする、エンジンストップ？何やらやな予感。ギヤが入らない！バスのシステムエラー？全ての電源をオフにして、再始動、何とか動き出したが今度はドアが閉まらない、再始動を繰り返して治る。やっと走り出して一安心。時間が経つに従って寒くなってきた。暖房が効いていない。しかしバスが動けば良いやと諦めて、ウトウト居眠りをしていると新松田駅に到着。

3人は小田急線に乗り、各々家路を急ぎ、鍋山行は終了しました。

《コース》

西丹沢ビジターセンターー犬越路避難小屋ー
桧洞丸ー西丹沢ビジターセンター

西丹沢鍋パーティー感想を提出します。用木沢→犬越路避難小屋間、特に小屋直下の所が大分崩れているのが目立ちました。

沢を大分石が流れたようで、一分劔岳の池谷ガリー状態だったのが印象的でした。小屋での鍋、明るく日の檜洞はとても充実した山行になりました。特に富士山と南アルプスが素晴らしく見れたことは一生忘れないでしょう。

腰の経過ですが、1月4日に以前とは別の整形外科を受診した所、第5腰椎の分離が影響して、第4腰椎が変形しているとの事でした。結果左足に伸びる神経を圧迫しているそうです。

しばらく痛み止めを飲んで痛みが引かないようなら、ブロック注射を進められました。鍋パーティーメンバーの皆さまありがとうございました。

A

楽しいメンバーと、美味しいお鍋に美味しいお酒で楽しい一夜を過ごしました。Nリーダーにキムチ鍋ふるまってもらい、美味しかったです！

初めて檜洞丸に行きましたが、犬越路避難小屋から山頂までの間は、尾根通しの適度なアップダウンにチョコッと鎖場という一番楽しいやつ！！山頂は青空と霧氷にかこまれて素敵なおところ。テント張りたい気分（原則禁止です）。

下山時もおしゃべりしながら楽しく過ごし、いい山だったなーと、最後に往復バス券付属のぶなの湯に入浴に行ったところ、なんと年末年始のお休み中！そして次のバスに乗り遅れ一時間待ちというおまけ付き。

いい厄落としが出来たので、今年は良い年間違いなしです！！

山行中一番ツボに入ったO語録は「ラッセル泥棒っていうけど、ラッセルに資産価値なんてないんだからさー」

ないですよ、資産価値は(笑) U

《今後の予定》

◎1月度の委員会

日時：1月29日(水) 19:30~

会場：エポック中原 7階 和室

内容：・企画山行アイス訓練について
・企画山行雪洞訓練について
・橋稜58号発行の進捗状況
・総会に向けた準備
・その他

◎2月度の集会

日時：2月5日(水) 19:30~

会場：高津市民館 11階 第1会議室

内容：・企画山行報告
・雪洞訓練参加確認
・個人山行報告
・来年度企画山行について
・その他

◎2月度の委員会

日時：2月19日(水) 19:30~

会場：エポック中原 7階 和室

内容：・来年度の企画山行の検討
・雪洞訓練参加確認
・総会にむけた準備
・その他

橋稜58号の表紙の写真募集中です。

締め切りは3月15日(日)とします。

(できれば早めをお願いします)